利根川水系渡良瀬川　国管理河川の浸水想定図（1／10規模降雨）【現況河道】



1　説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の渡良瀬川、桐生川、旗川、秋山川、矢場川、多々良川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））の降雨に伴う洪水により渡良瀬川、桐生川、旗川、秋山川、矢場川、多々良川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備計画検討時の降雨波形（平成１０年９月型、ただし、矢場川、多々良川は平成１０年８月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）公表年月日　令和４年８月３１日

（2）作成主体及び対象となる河川 国土交通省関東地方整備局
・渡良瀬川河川事務所：利根川水系渡良瀬川、桐生川、旗川、秋山川、矢場川、多々良川

（3）実施区間

【渡良瀬川河川事務所】

・利根川水系渡良瀬川
左岸：群馬県みどり市大間々町高津戸1078番17地先から栃木県栃木市藤岡町山合地先まで
右岸：群馬県みどり市大間々町大間々2245番4地先から栃木県栃木市藤岡町藤岡地先まで

・利根川水系桐生川
左岸：群馬県桐生市菱町4丁目字金葛2442番2地先から渡良瀬川への合流点まで
右岸：群馬県桐生市天神町3丁目360番12地先から渡良瀬川への合流点まで

・利根川水系旗川
左岸：栃木県足利市寺岡町894番1地先から渡良瀬川合流点まで
右岸：栃木県足利市寺岡町870番1地先から渡良瀬川合流点まで

・利根川水系秋山川
左岸：栃木県佐野市植下町字間之田町3336番地先から渡良瀬川合流点まで
右岸：栃木県佐野市大古屋町字大古屋町4541番地1地先から渡良瀬川合流点まで

・利根川水系矢場川
左岸：栃木県足利市県町浄土川戸1143番地先から渡良瀬川合流点まで
右岸：群馬県邑楽郡邑楽町秋妻字中耕地乙265番地先から渡良瀬川合流点まで

・利根川水系多々良川
左岸：群馬県館林市大字日向字森木48番地先から矢場川合流点まで
右岸：群馬県館林市大字木戸字広内177番地先から矢場川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨 年超過確率１／１０
（渡良瀬川・桐生川・旗川・秋山川　渡良瀬川流域、高津戸上流域の７２時間総雨量２８０mm）
（矢場川・多々良川　矢場川流域の７２時間の総雨量１９８mm）

（5）河道条件：現況

（6）関係市町村
＜栃木県＞足利市、栃木市、佐野市
＜群馬県＞桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
＜埼玉県＞加須市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）
- 0.0 ～ 0.5m 未満の区域
- 0.5 ～ 3.0m 未満の区域
- 3.0 ～ 5.0m 未満の区域
- 5.0 ～ 10.0m 未満の区域
- 10.0 ～ 20.0m 未満の区域

洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
河川等範囲
県界
市町界

1:60,000
2　0　2　4　6　8km

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R4JHf133　本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。